

コロナに負けず、「コミスポ」を開催しました。

柏木地区では、3年ぶりにコミュニティスポーツ大会を10月16日(日)に開催することができました。コロナ禍前には、「輪投げ」「ビーチボールバレー」「ユニカール」「ポッチャ」「玉入れ」でしたが、今回は「ユニカール」のみで実施しました。

開催までの歩み



10月16日の開催に向けて、実行委員会を複数回開催しました。最初の実行委員会では、高齢者や子どもを集めることに心配の声が多く、また、コロナ感染をした委員の方から「経験してみても良かったけれど、コロナを甘く見てはいけない。」という発言もあり、空気は中止の方向に向かっていました。

「でも、コロナ禍以前の状況に戻ることはないから、コロナがある中でもやれる方向を考えてみよう」という意見が出ました。

コロナ禍での実施にあたって



そこで、「ユニカール」一種目にし、各町会に協力をお願いしてチームを編成しました。

また、当日は選手とスタッフのみの参加として開催しました。そして昼食時を避けるために、午前中で終わるようにしました。

結果は、大成功でした。3年前の中央大会優勝チームから、ユニカール初体験のチーム、そして会場となった西新宿中 PTAチーム、育成委員会チームなど20チームで、充実した競い合いができました。

コミスポ再開の一步目、そして地域への想い



コミスポ実行委員長

柏木地区町会連合会長

山田 和男

今回のコミスポを実施して、地域の皆さんはこのような場を待っていたんだと実感しました。

開催を決める過程において、議論もありましたが、皆がそれぞれの意見を尊重し、どのように課題を解決していけるかという姿勢でした。そして開催することと決まると、全町会長が協力し、チームを編成してくれました。そして、当日は、全員がイベントを楽しみました。柏木地区の絆が益々強くなったと思います。

最後になりますが、スポーツ推進委員・青少年活動推進委員・青少年育成委員会の皆様ありがとうございました。